



2010年 医療・福祉生協 認知症サポーター活動交流集会

**認知症になっても 安心して
くらしつづけられるまちづくり**



医療・福祉生協の
認知症サポーターの役割

日本医療福祉生活協同組合連合会

会員支援部 部長 高藤 美和子



今日みんなで考えたいこと



1. 高齢化の進行と、認知症の国のとらえ方

○超高齢化社会に向けた、国の政策「認知症を知り 地域をつくる10ヵ年」構想

2. 私たちのとらえ方

○健康づくり、まちづくり

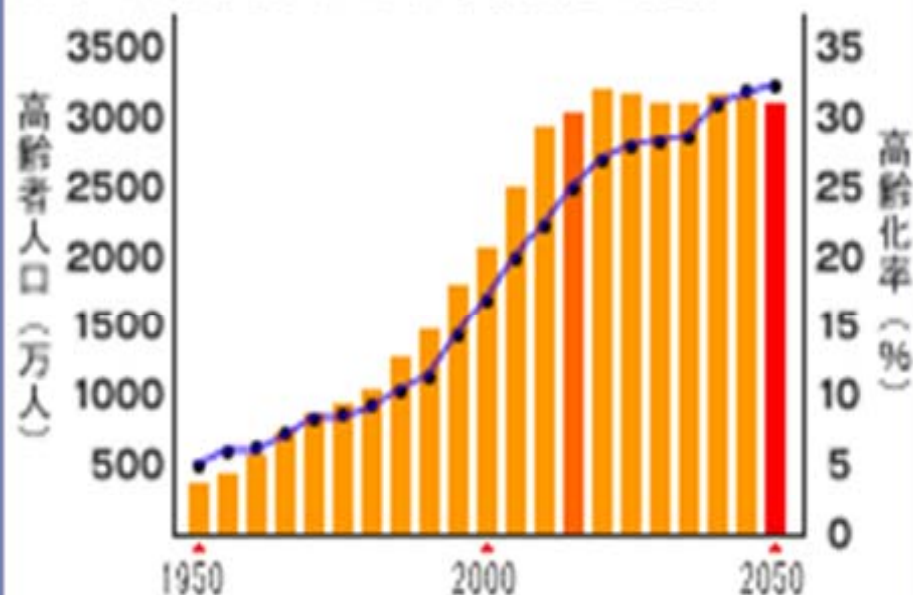
3. 医療・福祉生協に求められてること

○生協を活かす…「生協ならどうする」



2015年には4人に1人
2050年には3人に1人が65歳以上

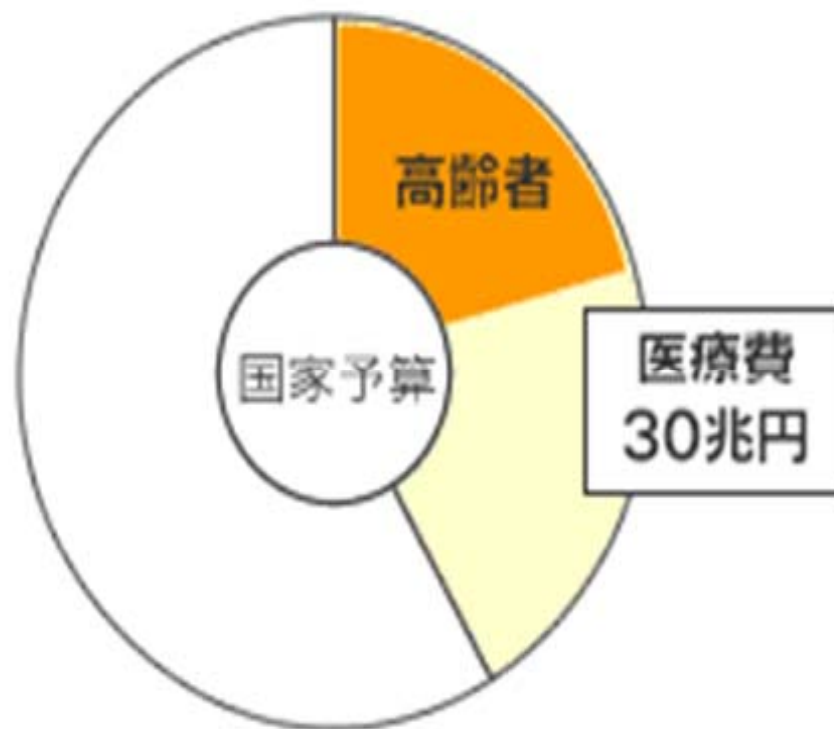
日本の高齢者人口及び高齢化の推移



国勢調査・国立社会保障人口問題研究所
「日本の将来推計人口」より

疾病・介護負担増大・労働人口激減による
経済成長の望み薄

総医療費30兆円うち15兆円が高齢者



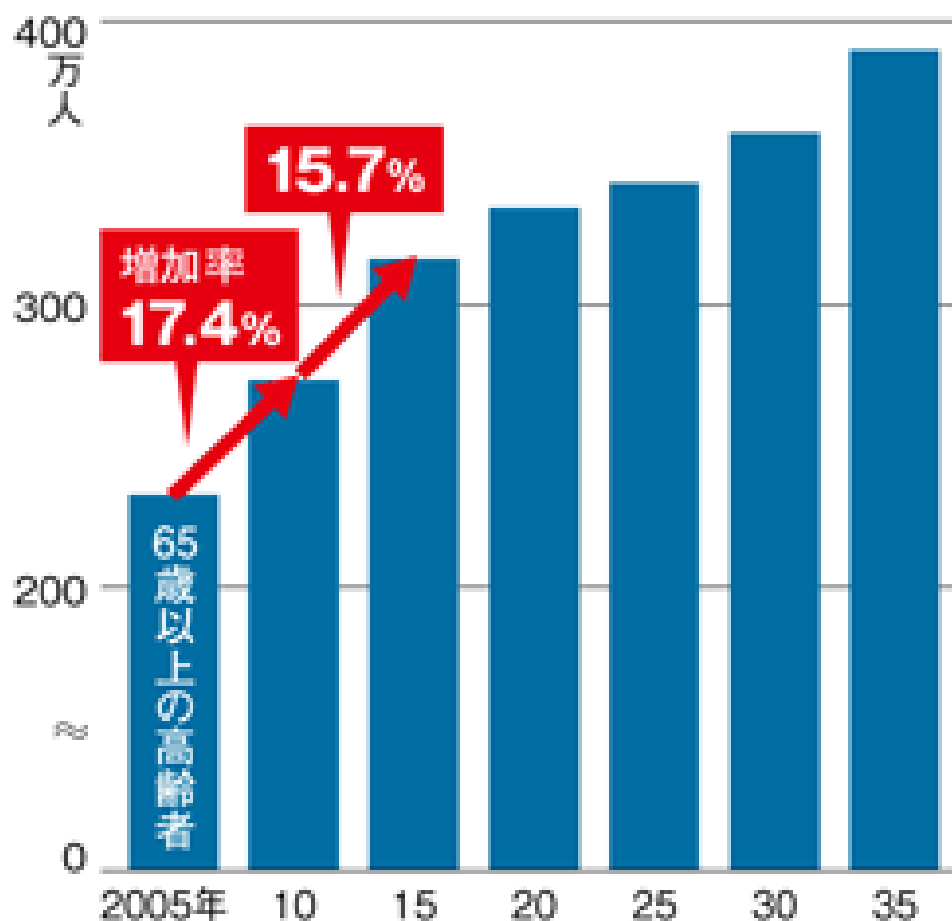
医療費は国家予算の40%を超えており
その50%は高齢者が占めている

都市部で急速な高齢化

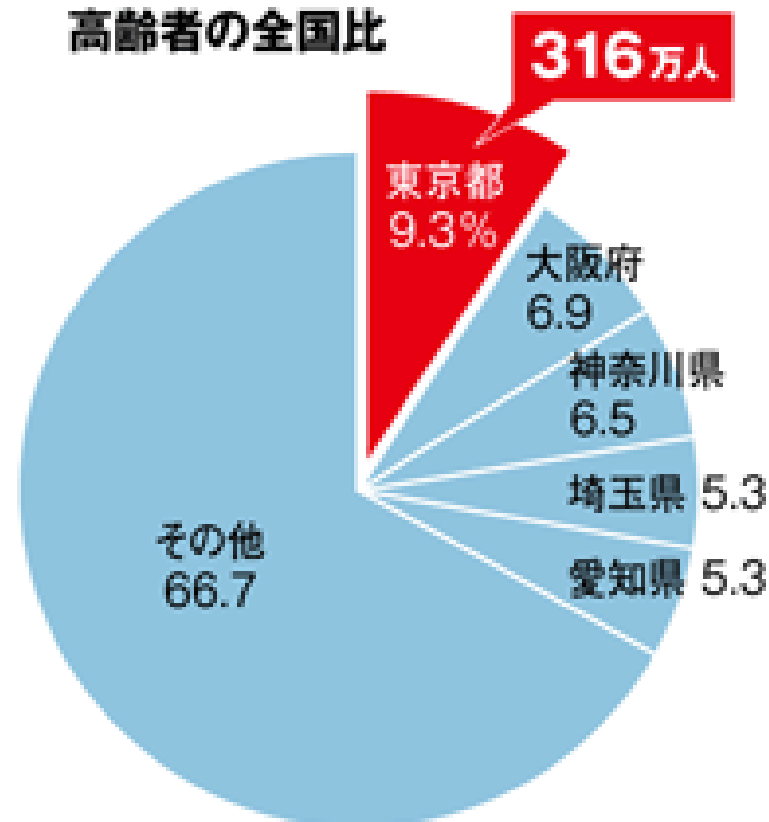
	2005年	2015年	増加数	増加率	順位
埼玉県	116万人	179万人	63万人	+55%	1
千葉県	106万人	160万人	53万人	+50%	2
神奈川県	149万人	218万人	70万人	+47%	3
愛知県	125万人	177万人	52万人	+42%	4
大阪府	165万人	232万人	68万人	+41%	5
東京都	233万人	316万人	83万人	+36%	7
全 国	2, 576万人	3, 378万人	802万人	+31%	

東京都は今後5年で高齢者が急に増える

65歳以上の高齢者数と増加率

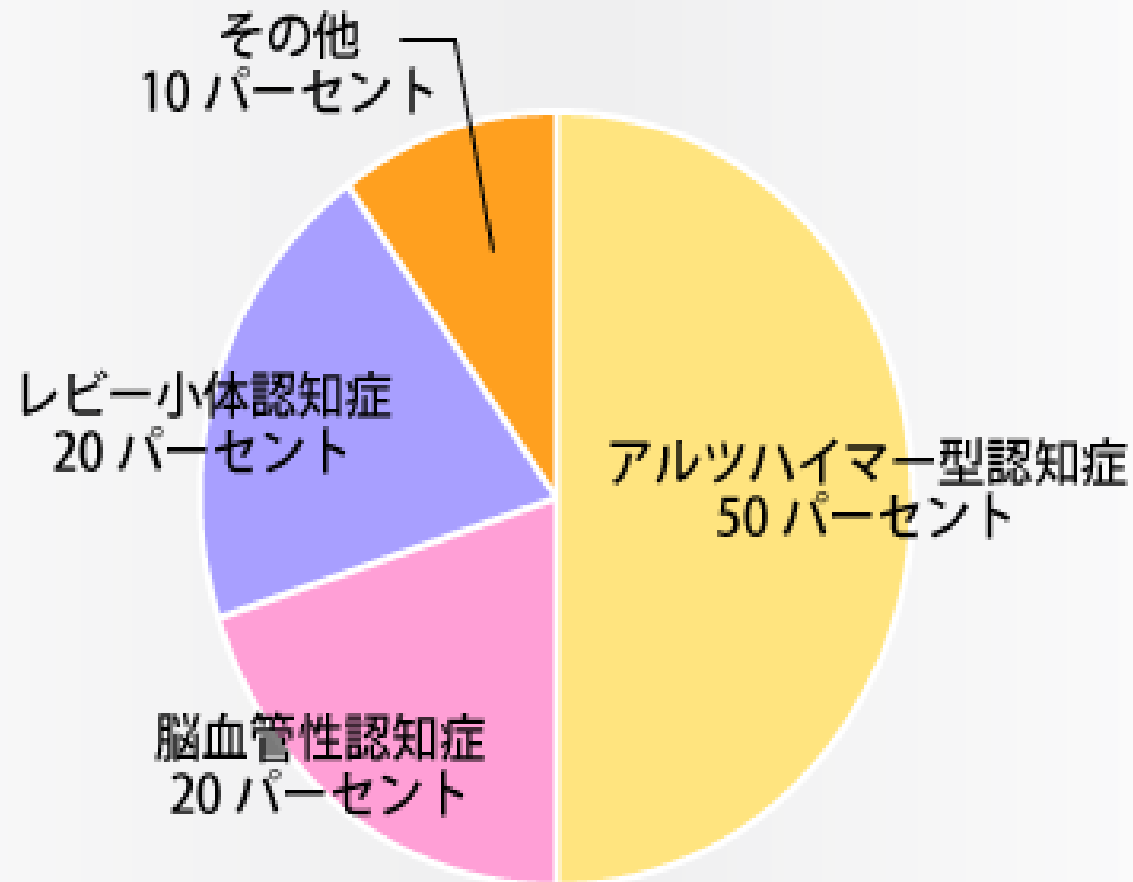


2015年の65歳以上 高齢者の全国比



出所：国立社会保障・人口問題研究所

85歳以上の高齢者4人に1人は認知症



「認知症を知り 地域をつくる10ヵ年」構想

- 2005年「認知症を知る」
- 2009年(中間年)到達目標
 - ・認知症について学んだ住民等**100万人**
 - ・認知症になっても安心して暮らせるモデル的地域が全国にいくつかできている
- 2014年到達目標
 - サポーターが地域に**数多く存在し、すべての町が安心して暮らせる**地域になっている

認知症になっても安心してくらし 続けられるまち…ってどんなまち？

- ・認知症であることをためらいなく公にできる
- ・住民や町で働く人々によるちょっとした助け合いが活発
- ・予防からターミナルまで、関係機関のネットワークが有効に働いている
- ・かかりつけ医を中心とした地域医療ケアチームがきめ細やかに支援している
- ・徘徊する人を町ぐるみで支援している

認知症サポーターの役割

例えば

- ① 地域で暮らす認知症の人やその家族の生活を、商店や交通機関・金融機関など、各々の生活場面において直接サポートする
- ② 地域で生活する認知症高齢者と様々な社会資源とつなげる窓口となる
- ③ 地域のリーダーとしてまちづくりの担い手となる



医療生協の明るいまちづくり (2010年度重点課題)



①一人ぼっちをなくす

- ・社会的孤立をなくし、絆を強める

②認知症になっても地域でくらし つづけられる

- ・認知症の学習、サポーターの活躍
の場、予防のとりくみ

③寝たきりにならない・・・健康づくり

医療生協の認知症サポーター

	認知症サポーター数	キャラバンメイト数
2008年度 (2009.03.31)	16, 186人	353人
2009年度 (2010.03.31)	5, 580人	116人
合 計 (2010.03.31)	21, 766人	469人



医療・福祉生協の認知症サポーター

- ① デイサービスや地域の施設でボランティア
- ② 助け合いの活動
- ③ キャラバンメイトになって、サポーターづくり
- ④ 全職員をサポーターにするとりくみ
- ⑤ 自治体との連携が強まった
 - ・市と見守りネットワークづくり協議会
- ⑥ ワークショップやバージョンアップ学習会
- ⑦ たまり場づくり、認知症予防



医療福祉生協連の誕生

2010年7月6日創立総会

(日本生協連と115の医療生協が加盟)

何のために創ったか？

- ① 日本の医療・介護崩壊を食い止めるため
- ② 地域を守るまちづくりを進めるため
- ③ 会員生協の事業を守るため

何をめざすか？

- ① 日本に健康を大切にする文化を根づかせる…**憲法の実現**
- ② 医療と介護の連続したサービス
- ③ 社会保障制度を改善する



何が変わるか？

- ① 社会的認知・存在が変わる
- ② 世間の注目度が変わる
- ③ 新しい事業連帯が始まる
- ④ 新たな広がりができる



認知症サポーターへの期待

- ① 高齢化がすすみ、人口が減少
(人口は減少・世帯数は増加)
- ② 「格差」が広がる
- ③ つながりが壊れている
- ※ 猛暑の今年、熱中症の死亡増
高齢者、一人ぐらし、貧困

医療・福祉生協の 認知症サポーターへの期待

- 「生協」ならどうする・・・
生協でなければできないこと
生協だからできること
- いのちの大運動は社会の変化
に対応して医療生協の質を
変える運動



生協の目的は・・・？

**ひとりでは幸せになれない
仲間のつながりが必要**

ばらばらではくらしていけない

**危機をみんなで乗り切り
豊かな人生を創る**



医療・福祉生協だからできること 特徴を活かしたとくみ

- 保健・医療・介護の総合力を活かす…事業とサービスの充実
 - 組合員と専門家の協同による事業と運動
 - 「患者の権利章典」「医療生協の介護」
 - 班・支部の活動
 - comcomや虹のネットワークの活用
- 虹ワク10月号「成年後見制度」



生協でなければならないこと

① 組合員が主人公

班・支部にたくさんのサポーター

② 健康づくり

認知症寝たきりにならない

③ まちづくり

3つのとりくみを中心に

新たな広がりを活かして